

平成17年度「物流効率化推進事業費補助金」第1次交付決定事業一覧

別紙

(1) 拠点集約化

番号	モデル事業件名	交付申請者 (連携企業)	概要	交付決定額 (円)
H-5	遠隔地ユーザーへのJIT対応型モデルシフト	西武運輸(株) (日本ペイント(株))	愛知 福岡のトラック輸送を鉄道にシフト。その際、福岡にクロスドック機能を持った拠点を整備して、ユーザーへのJIT輸送を行い、効率的なシステムに転換する。	600,000
H-7	愛知県豊田市に物流センターを建設、自動車部品の集約を図り、全国カーメーカーデポへの共同輸送を行う実施計画	(株)ロジックス (中央精機(株))	自動車部品メーカー東海地区生産拠点から納入先である全国のカーメーカーデポまで、各工場より積み込み発送していたが、建設する豊田市の物流センターへ集約輸送を行う。同時に東海地区及び海外の他メーカーの製品も集約し、トラック輸送における共同輸送を提案し、環境負荷低減を図る。	20,000,000
H-8	倉庫を新設し輸送距離の短縮とトレーラー化でCO2を削減する	川崎陸送(株) (外1社)	4カ所の外部倉庫を共同運営倉庫1カ所に集約し、トレーラー化、パレット統一化を進めて輸送台数を削減するとともに、24時間稼働による待ち時間削減により、物流効率アップとCO2削減を目指す。	19,000,000

(2) 輸送共同化・温度管理物流等

番号	モデル事業件名	交付申請者 (連携企業)	概要	交付決定額 (円)
C-2	トラック連結輸送の推進によるCO2の削減と輸送コストのスリム化	大和トランスポート(株)、明徳輸送(株) (三協アルミニウム工業(株)、立山アルミニウム工業(株)、ST物流サービス(株))	富山から関東及び九州方面のアルミ製品輸配について、幹線部分が現行のトラック1台ごとの輸送から、連結した新型のトラックに転換して、2台別々に複数荷主から積み込みし、幹線は2台連結して共同輸送し、目的地では別々に切り離し別方面へ配送するもの。この転換で幹線の運行はドライバー1人で済む他、積込・配送時間の短縮や燃料の節減が図られる。	9,000,000
C-8	国際海上コンテナ輸送の効率化と環境負荷の軽減の取組み	藤木陸運(株)、鈴江コンテナートランスポート(株)、(株)日新、宇徳陸運(株)、菱倉運輸(株)、ケイヒンコンテナ急送(株)、国際コンテナ輸送(株)、日本高速輸送(株)、日本コンテナ輸送(株)、早川海陸輸送(株)	汎用性(ISO20ft、40ftどちらも積載可能)のある3軸シャーシの導入により、片荷輸送・空回送等の解消を図り、海上コンテナ輸送の効率化、交通渋滞及び環境負荷の低減を図る。	13,000,000
C-15	大型冷凍・冷蔵コンテナによる不特定多数荷主を対象としたクール宅急便幹線輸送の鉄道輸送転換	ヤマト運輸(株) (日本貨物鉄道(株))	自社開発のクールコンテナを用いて、現在トラック輸送を行っているクール宅急便について、長距離区間の鉄道転換モデルに取り組み、首都圏対九州を往復鉄道にシフトする。	3,000,000
C-16	幹線温度管理物流モデルシフト事業(クールコンテナ共同利用)	日本フレッシュ・ロジスティクス協議会 (外27社)	トラック温度管理物流に関連する中小事業者・パートナーシップ会員が主体となり、モデルシフト普及定着の3つの重要課題(コスト・品質・利用ソフト)に対し、高精度クールコンテナを使い、3PL機能を生かした輸送実験を重ね、産業的ソリューション造りのモデル事業に取り組み。	2,371,000

(3) 船舶へのモーダルシフト

番号	モデル事業件名	交付申請者 (連携企業)	概要	交付決定額 (円)
M 1 2	はしけ(デッキバージ)を利用した京浜港間の海上コンテナ横持ち輸送	横浜はしけ運送事業協同組合 (横浜港開発事業株)	現在京浜港間で行われている国際コンテナ船社フィーダー輸送及び空コンテナのポジショニングの一部を海上輸送(はしけ輸送)に転換することにより、京浜港間横持ち輸送の効率化、交通渋滞及び環境負荷の軽減を図る。	40,000,000
M 1 8	紙製品と廃棄物燃料の海陸一貫往復輸送(九州 関東・近畿)	王子物流株 (王子製紙株)	内航RORO船(日南 大阪 東京航路)を利用し、復路(大阪・東京 日南)で空車回送になっているトレーラーに、王子製紙日南工場で使用する燃料用廃タイヤを積載(ボックスパレットを使用)し、物流コストの低減及び環境負荷の抑制を図る。	30,000,000

(4) 鉄道へのモーダルシフト

番号	モデル事業件名	交付申請者 (連携企業)	概要	交付決定額 (円)
R 1 1	新型20ftコンテナによる北海道～東京間モーダルシフト	北見通運株 (丸玉産業株、札幌自動車運輸株、日本貨物鉄道株)	北海道 - 東京間のトラック輸送を容積の大きい背高三方開き簡易ウイング20ftコンテナを利用した鉄道輸送にモーダルシフトする。	9,000,000
R 1 4	31フィートコンテナ共同利用方式による「スーパーグリーン・シャトル列車」計画(JR貨物と鉄道利用運送事業者による共同プロジェクト)	日本貨物鉄道株 (日本通運株、全国通運株、(社)全国通運連盟)	鉄道利用運送業界およびJR貨物の協力のもとで、物流の大動脈区間に新たなダイヤ設定による利便性の高い31フィートコンテナ用「スーパーグリーン・シャトル列車」を運行する。この列車を利用して物流のグリーン化を目指す多数の荷主企業やトラック事業者が参加できるよう、鉄道利用運送業界が一括プール保有する31フィートウイングコンテナの共同運用方式を組み立て、誰でも臨機応変に鉄道利用可能なシステムを構築する。	100,000,000
R 1 7	関東地区～中国・九州地区間における鉄鋼輸送の、鉄道輸送によるモーダルシフト事業	山九株 (日本貨物鉄道株)	現在行われている鉄鋼メーカー製品の関東 中国九州間トラック輸送を専用大型無蓋コンテナを新規保有したうえ鉄道輸送にシフトし、環境負荷の低減を図る。	20,800,000
R 1 8	サプライヤーとの共同による調達物流のモーダルシフト化	(株)リコー (ダイナオックス株、富士アルミ管工業株、日本貨物鉄道株、日本通運株)	滋賀県・大阪府・山形県から静岡県へのOAサプライの原材料輸送をコンテナを利用した鉄道輸送に転換しCO2の削減を図る。	3,333,333

第1次交付決定額合計

270,104,333